

日福大付高生が「美浜町民選挙割」考案

20日投開票の参院選に向け、美浜町奥田の日本福祉大付属高、総合進学コース3年生が「美浜町民選挙割」を考案した。町民が投票済証を対象店で提示すると、サービスが受けられる。生徒らは地元店の店に地道に依頼し、14店舗の協力が得られた。

総合的な探究の一環。昨年度、町からいくつか解決すべき地域課題が示され、一つに若年層を中心とした域経済を活性化できるとし

一票入れて お得に買い物



選挙割を考案した生徒ら。いずれも美浜町の日本福祉大付属高で



生徒がデザインした投票済証

今回の参院選は、さらにパワーアップ。約60の店に生徒たちが自ら電話をかけ、協力を仰いだ。電話に不慣れな生徒も多く、アポ取りは想像以上に難航したが、スーパーやコンビニ、飲食店、レジャー施設など幅広い業種の14店舗で実現した。

14店舗協力 投票率アップに期待

実施は12・27日。町民が太田直希さんは「今は投票率がすごく低いけど、美浜町だけでも同世代がみんな投票に行けば変わると思う」と期待を込める。PRのポスターをデザインした小島大知さんは「若い人が気になるお店もある。投票は簡単に行けて、素晴らしいサービスも受けられることを知ってほしい」と呼びかけた。

投票済証のイラストも生徒が考えた。野間瑠灯台やミカン、町のマスコットキャラクター「のまつきー」など、町らしさあふれる絵柄の投票済証が投票所でもらえる。選挙割を使った人

にはアンケートの回答を求め、利用者数や年代の検証もするという。



対象店舗とサービスの一例。一部は期間が短い